

2015年 3月期 決算説明資料



トレンダース株式会社
東証マザーズ：6069

| 2015年3月期 トピックス

| 2015年3月期 決算概要

- 2015年3月期 概要

- 売上高・売上構成の推移

- 営業利益の増減要因

| 事業状況と今後の展開

- 経営戦略

- トレンダーズの事業内容

- 各事業の状況と今後の展開

- 中期経営計画

■ 売上高は増加したが利益は減少

新規サービス群の成長が業績を牽引し、売上高は前期比9.8%増となりましたが、子会社H&BC（※）の利益率が悪化し、経常利益は前期比10%減となりました。

（※H&BCは平成27年4月30日付で全株式の譲渡が完了しております）

■ 新規サービス群が堅調

スマートフォン及び動画関連サービス等の新規サービス群が堅調に推移し、同サービス群の売上高は前期比56%増となりました。
中でも動画関連サービスの売上高は前期比235%増と大きく成長いたしました。

■ 新規メディアをローンチ

国内最大級ストックフォトサービスの株式会社アフロと業務提携し、FBページが80万いいね！を突破した訪日外国人向けメディア「ZEKKEI Japan」のスマホ・PCサイトをローンチいたしました。

2015年3月期 決算概要

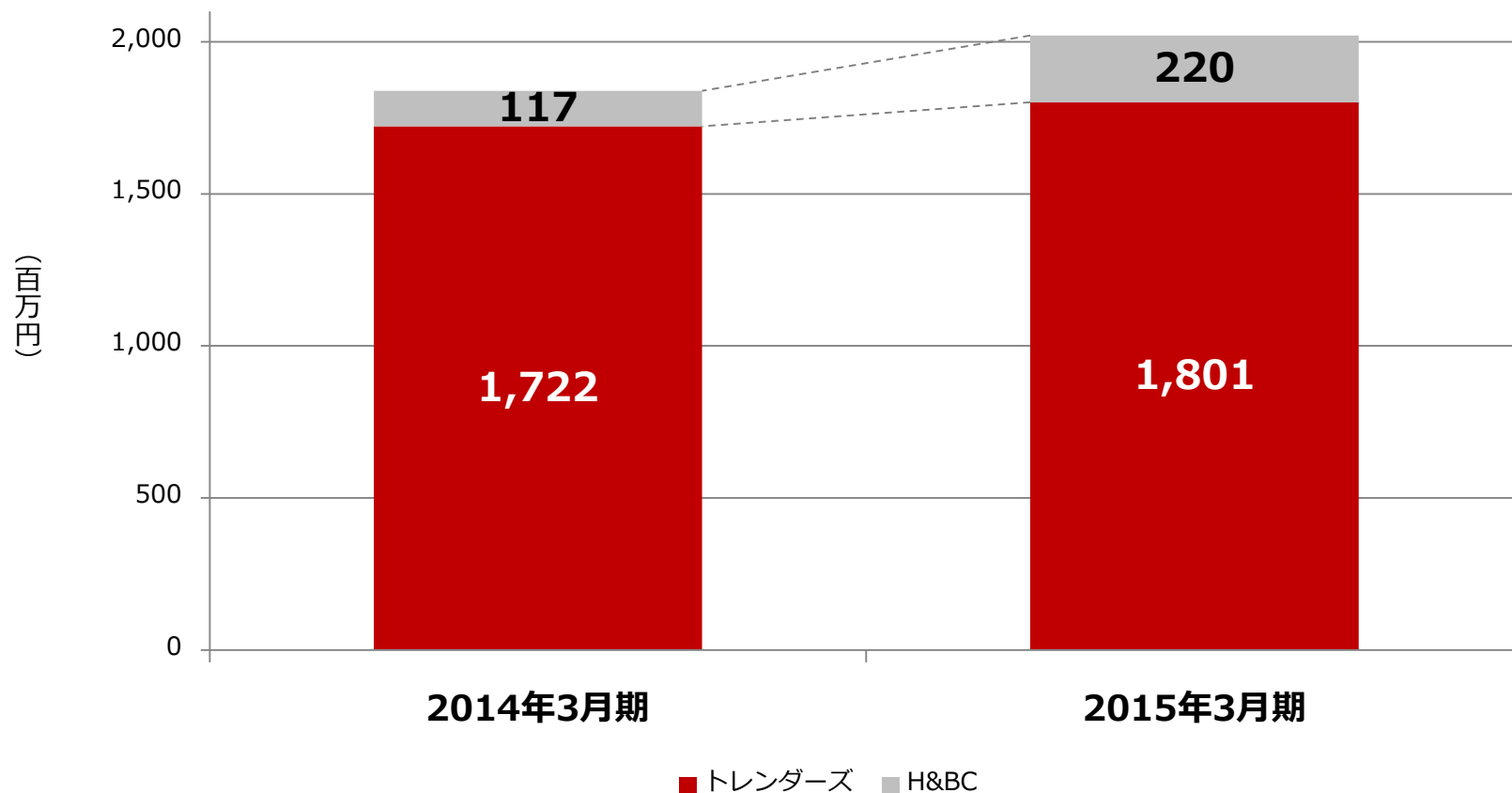
- 2015年3月期は**売上高が前期比9.8%増**、**経常利益が▲10.0%**で増収減益となりました。

		2015年3月期 累計期間実績	2014年3月期 (前期) 累計期間実績	前期比
売上高	(百万円)	2,020	1,839	9.8%
営業利益	(百万円)	141	159	▲10.7%
経常利益	(百万円)	143	159	▲10.0%
純利益	(百万円)	60	85	▲28.9%

トレンダース単体および子会社(H&BC)売上高の推移

■ トレンダース単体の売上高は前期比5%増の18.0億円となりました。

＜売上高の前期比較＞

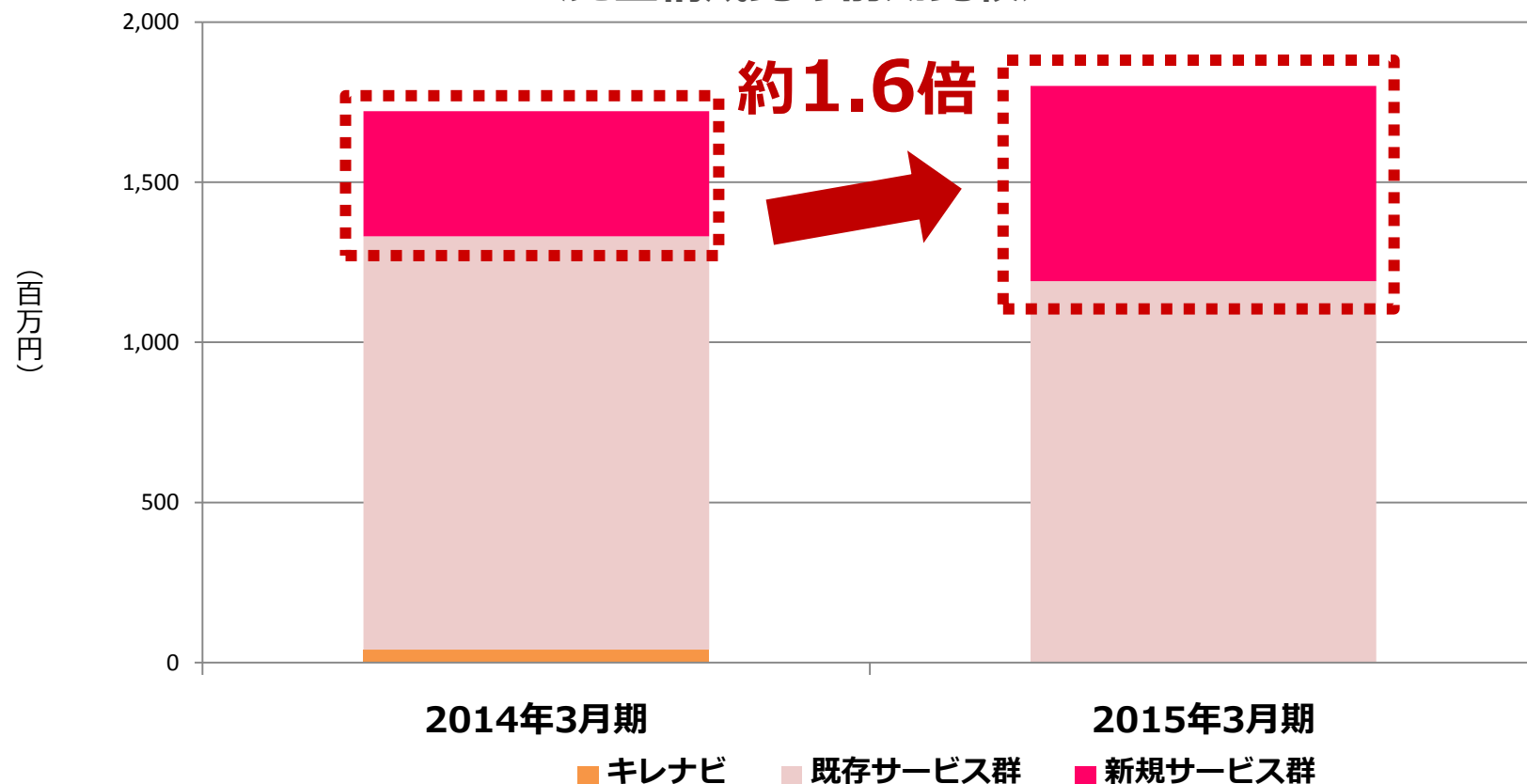


※H&BCは平成25年11月に連結子会社となりましたため、
前事業年度は平成25年12月～平成26年3月の4ヶ月の業績であります。

トレンドズ単体の売上高および売上構成の推移

- 新規サービス群（スマートフォン及び動画関連サービス、自社メディア）は前期比で**約1.6倍**と売上高を大きく牽引いたしました。中でも**動画関連サービス**は当該売上が前期比**約3.3倍**と大きく成長いたしました。

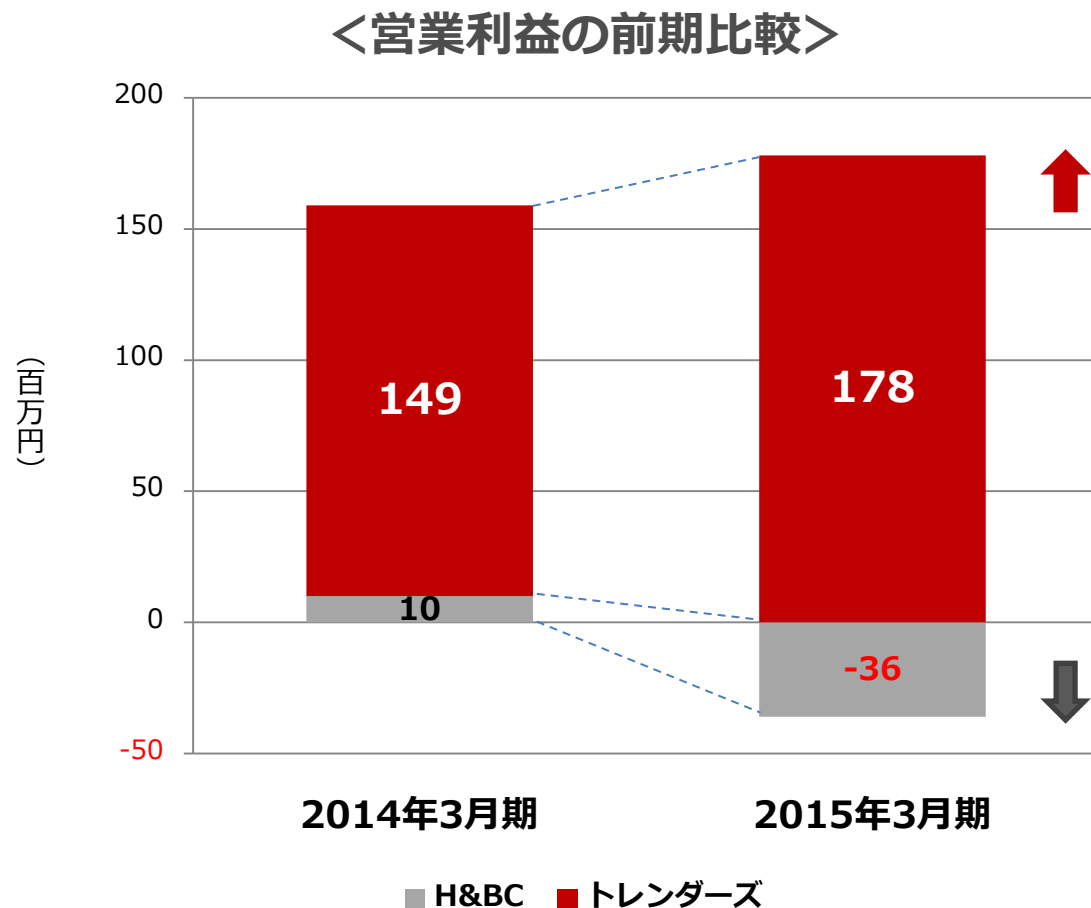
＜売上構成比の前期比較＞



※キレナビは2014年1月末でサイブリッジ社に事業譲渡しております。

トレンドーズ単体および子会社(H&BC)営業利益の推移

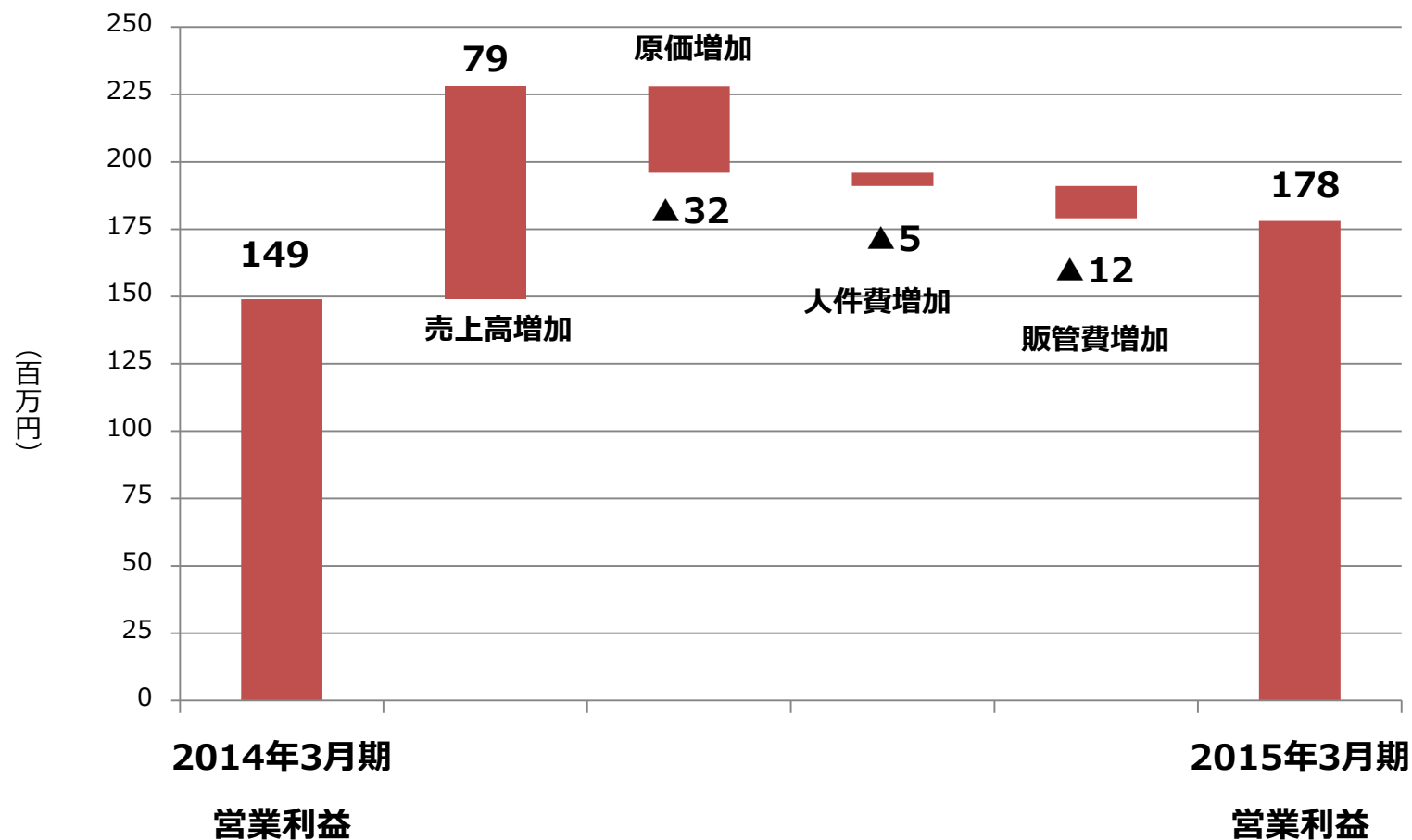
- トレンドーズ単体営業利益は前期と比べ19%増の178百万円となりましたが、子会社H&BCの営業利益は大きく減少し、▲36百万円となりました。



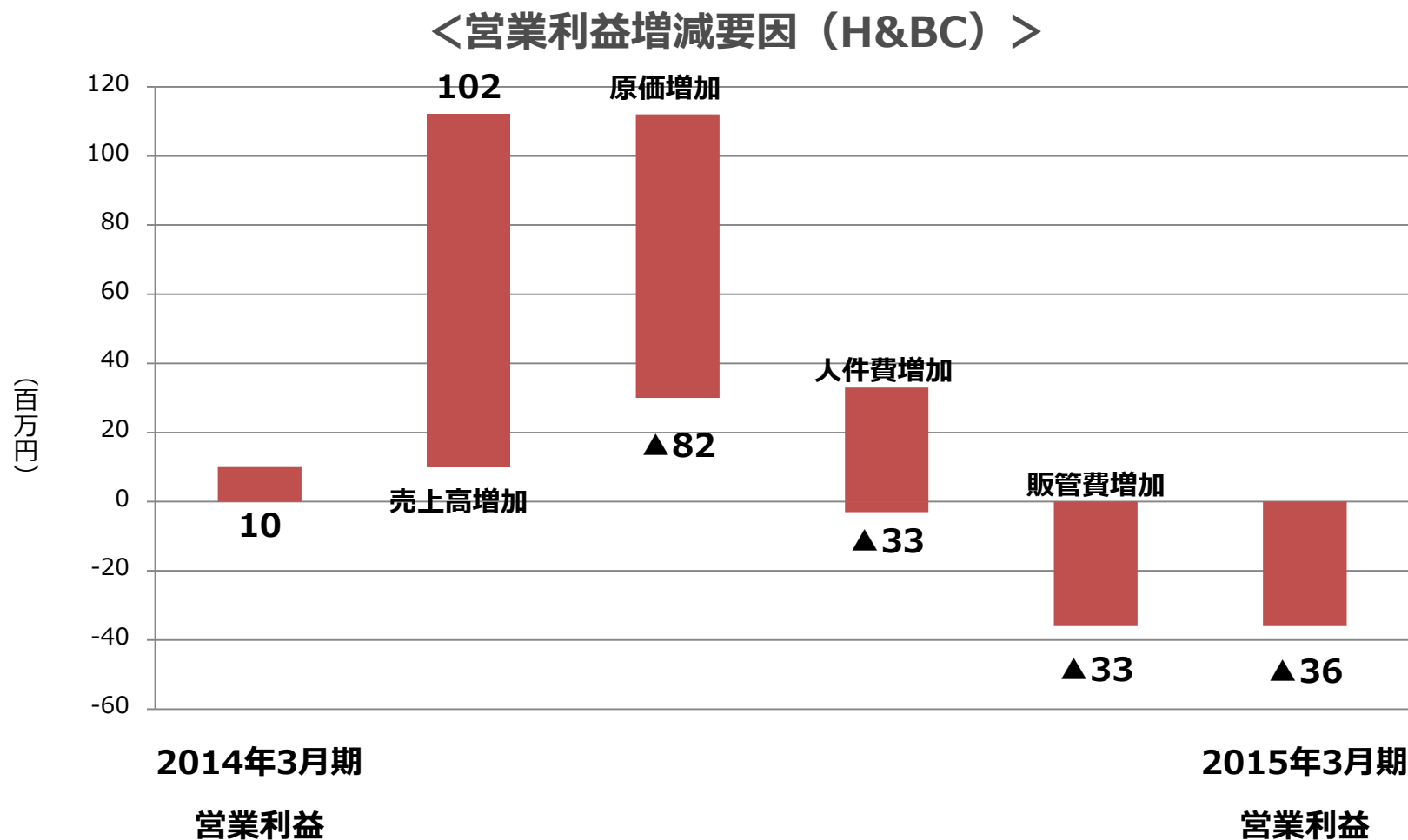
※H&BCは平成27年4月30日付で全株式の譲渡が完了しております。

- 売上高が増加したことに加え、人件費および販売管理費の伸びを圧縮できたことにより、営業利益は前期比29百万円増となりました。

＜営業利益増減要因（トレンドーズ単体）＞

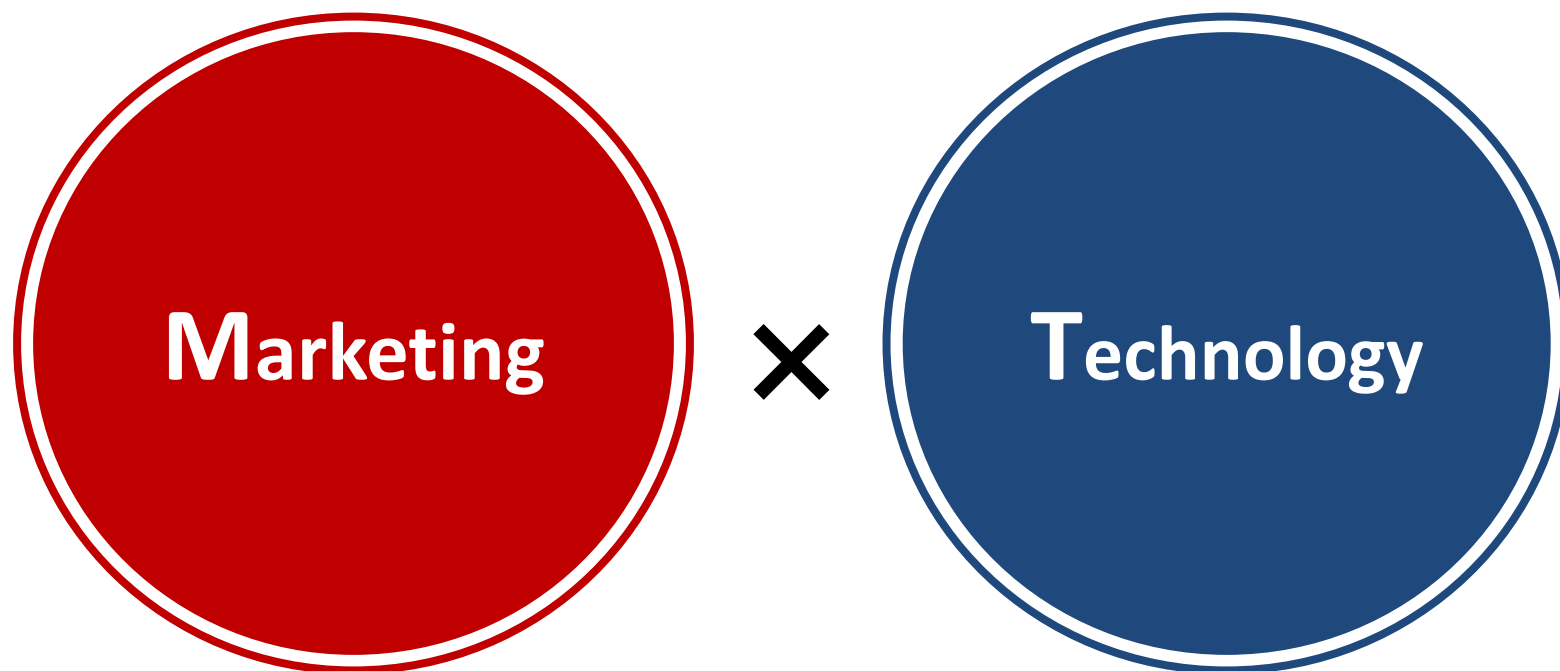


- 返品調整引当金の積立額を大きく超える返品を受けた影響により売上原価率が悪化し、営業利益は前期比46百万減となりました。



※H&BCは平成27年4月30日付で全株式の譲渡が完了しております。

事業状況と今後の展開



創業以来培ってきたマーケティングノウハウにテクノロジーを融合させ、
新たなマーケティングソリューションとメディアを生み出す

「MarTech Company」 へと進化いたします。

マーケティングPR事業

WEBメディア・ソーシャル
メディアを軸とした企業の
マーケティングPR支援

メディア事業

領域特化型の自社メディア
(バーティカルメディア)
の運営

 ZEKKEI Japan
Anny

動画事業

動画制作、動画拡散など動
画を活用した企業のPR支援
とクリエイター育成



スマートフォン関連事業

スマートフォンに特化した
プロモーション支援、アプ
リ開発運用



① マーケティングPR事業

収益率を重視した事業展開を目指すとともに、顧客企業および協業パートナー企業との提携を強化し、新サービスを開発いたします。

② メディア事業

新規メディアとして「ZEKKEI Japan」「Anny magazine」をローンチ。今後もテクノロジーラボ「BLT」を基盤にバーティカルメディアを開発してまいります。

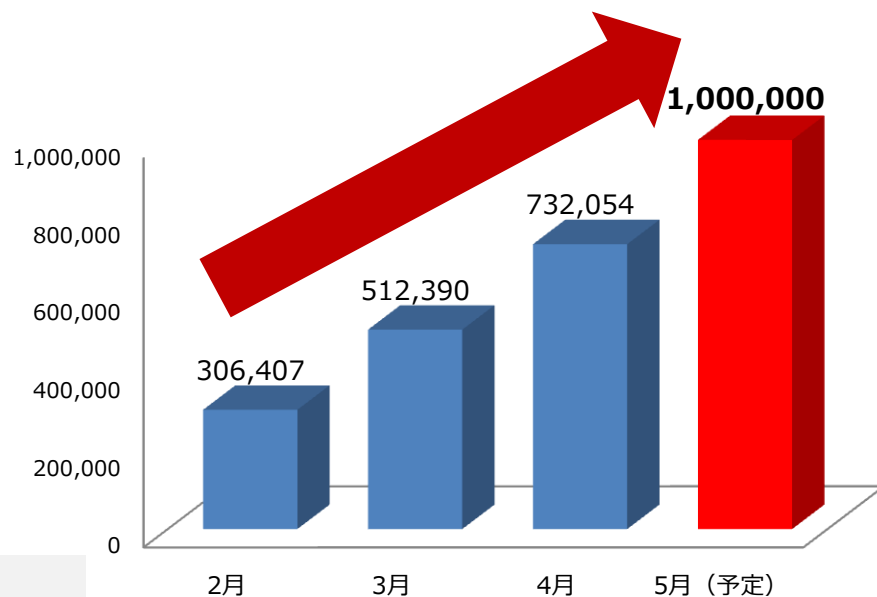
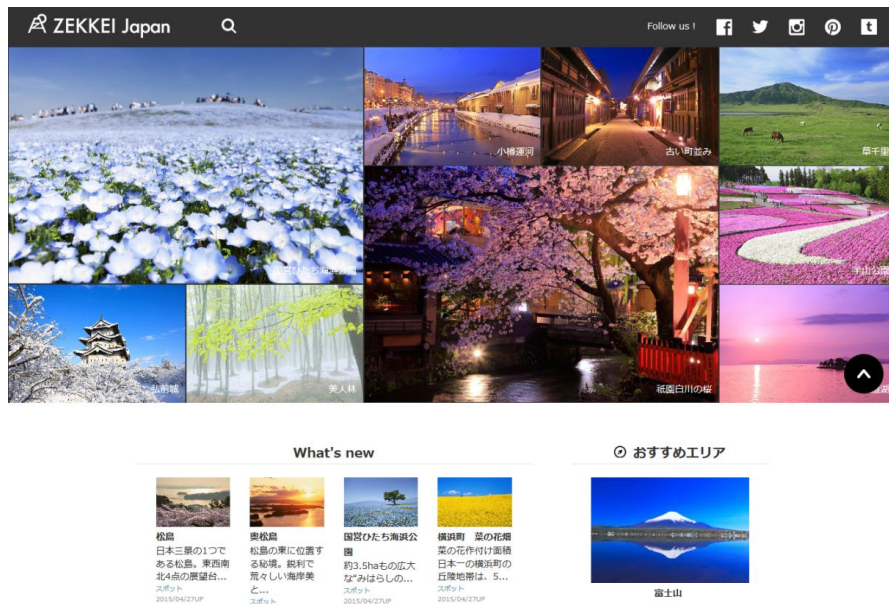
③ 動画事業

動画クリエイター及び提携メディアとの連携を強化し、さらなる売上の拡大を図ります。新たに領域特化型の動画プラットフォームも開発予定です。

④ スマートフォン関連事業

スマートフォンマーケティングに特化した子会社Smarpriseを中核に、当該領域の専門性を強化いたします。また新規アプリを開発し売上の拡大を図ります。

訪日外国人観光客向けメディア「ZEKKEI Japan」では、多言語展開をするFBページのいいね数が80万を突破。海外ユーザーのさらなる獲得に努めます。



<Facebookページいいね数推移>

「ZEKKEI Japan」

- ・ 訪日外国人観光客に日本各地の絶景スポットを紹介するインバウンドメディア
- ・ Facebookをはじめ、Instagram、Pinterest、Wechatなど多数のSNSアカウントを多言語展開し、SNSからの流入を図る

ギフトに特化したキュレーションメディア「Anny magazine」をローンチ。
7月にはギフトマッチングアプリのリリースを予定しています。



「Anny magazine」

- ・誕生日、結婚、出産、クリスマス、バレンタイン、母の日、父の日などのギフトに関する情報に特化したキュレーションメディア
- ・アニバーサリーシーンを楽しくするギフトのノウハウやアイテムに手軽に出会うことが可能に



スマートフォンマーケティングに特化した株式会社Smarpriseでは、既存サービスの成長に加え「GCN」「SMART GAME」などの新規サービスをゲーム系企業に向けて拡販してまいります。

Smarpr!se

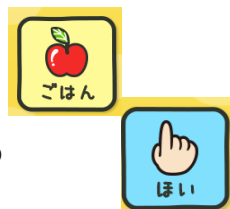
既存サービスの成長戦略

既存サービスにおける エンゲージメント向上施策

LINE
スタンプの
導入



大幅リニューアル
アプリ内デジタル
インセンティブによる
利益率向上



新規サービスの成長戦略

ゲームディベロッパーに フォーカスしたプロダクト開発

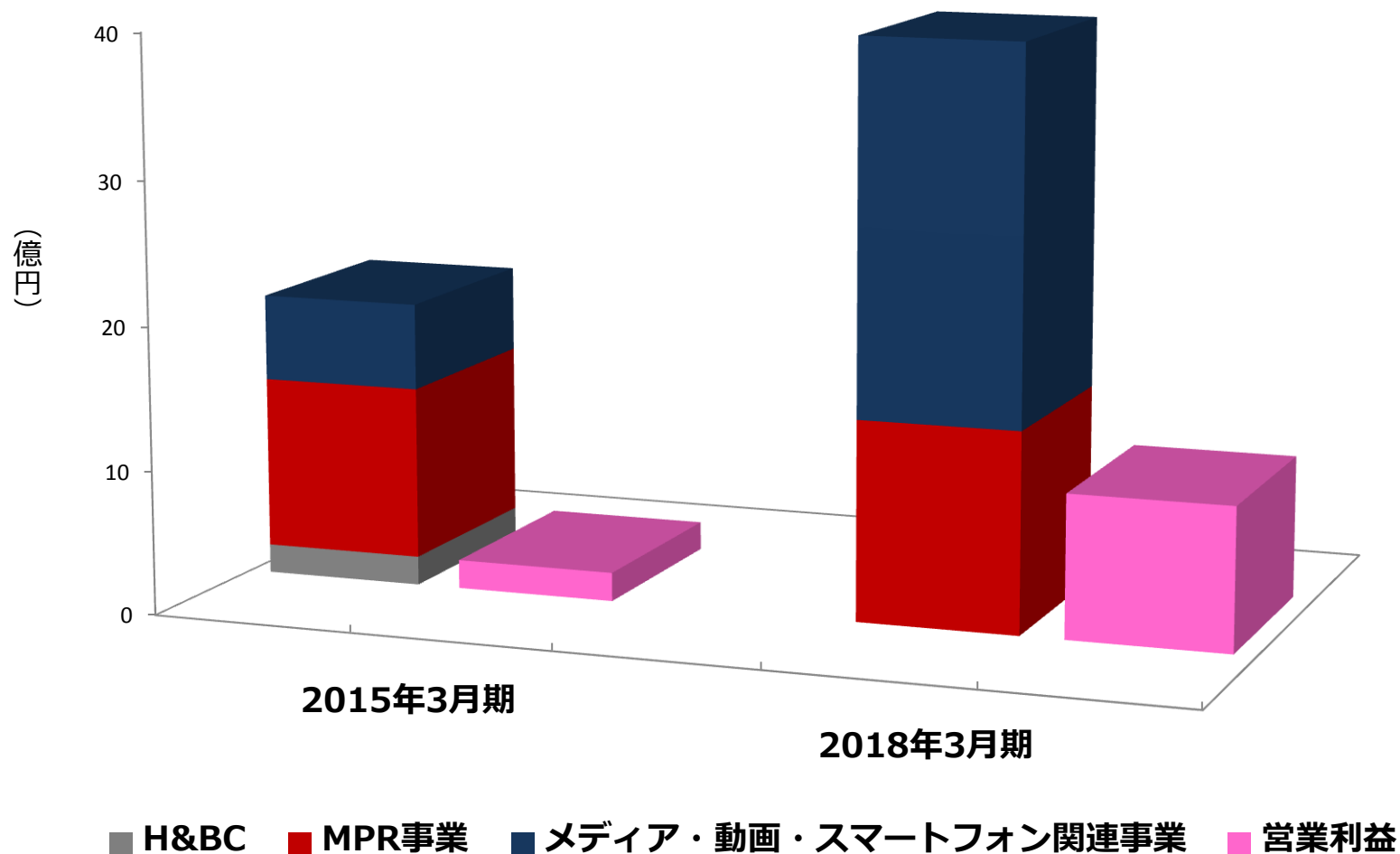
ゲームの
実況動画



ゲーム
プラット
フォーム
メディア

SMART GAME

MarTech Companyとして営業利益10億円を目指します



本資料は、業績に関する情報提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的に作成したものではありません。

また、本資料に掲載された情報や見通しは、資料作成時点において入手可能な情報を基にしております。

本資料の内容には当社の判断が含まれており、情報の正確性を保証するものではなく、今後様々な要因により実際の業績や結果と異なることがあります。